

地方経済

作業音抑え軽量化

三陽 新型樹木粉砕機販売へ

農業機械メーカーの三陽へ廃材処理用などとして陽機(岡山鳳凰市)で赤い込み、初年度は約二百台の販売を目指す。免、今月下旬から本格販売する。従来機より作業音を抑えたほか、軽量化などを図った。滋園業者や果樹園のほか、一般企

業へ廃材処理用などとして陽機(岡山鳳凰市)で赤い込み、初年度は約二百台の販売を目指す。免、今月下旬から本格販売する。従来機より作業音を抑えたほか、軽量化などを図った。滋園業者や果樹園のほか、一般企

業へ廃材処理用などとして陽機(岡山鳳凰市)で赤い込み、初年度は約二百台の販売を目指す。免、今月下旬から本格販売する。従来機より作業音を抑えたほか、軽量化などを図った。滋園業者や果樹園のほか、一般企



作業音を抑え、軽量化を図った三陽機種の新型の樹木粉砕機

止、再脱着させる自動制御システムでは、感知機を従来の電気式から油圧式に変更した。「耐久性向上などのメリットがある」と(同社)といい、特許を申請している。全高さ一・二四、希望小売価格は百九十九万七千円。

同社は農業トラクターに装着する荷役作業機器が主力。売上高に占める環境商品(樹木粉砕機や草刈り機)の割合は二割前後で、将来的には二割に引き上げたい考え。

三陽機種は一九六六年設立。資本金六千六百万円。従業員四百人。売上高二十七億五千万円(二〇〇五年五月期)。